

ごみ分別のお願い 危険物の混入にご注意ください

〈スプレー缶・有害ごみの出し方〉

刃物、注射針、乾電池、ライター、スプレー缶などは、絶対に混入させないでください。収集員のけがや収集車両、処理場で爆発や火災を起こす可能性があり、大変危険です。また、外装フィルムや容器がプラスチックのため、プラマークの表示があるスプレー缶がプラスチックごみや燃やさないごみに混入しているケースが増えています。

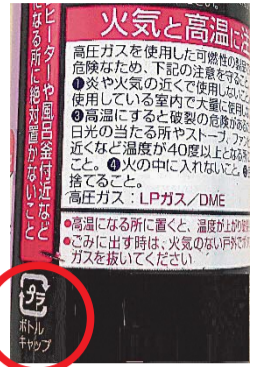
「火気厳禁」等の表記があるものは、必ずスプレー缶として出してください。

〈電子たばこ類の出し方〉

電子たばこ類は出来るだけ販売店に返却してください。返却不可能なものについては、有害ごみとして出してください。

(例)

外装フィルムや容器がプラスチック製のものであっても、スプレー缶として出してください。



スプレー缶



電子たばこ



ご協力をお願いします！



小金井発 資源物のゆくえ



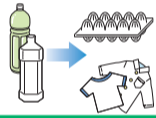
市では、日ごろからごみの減量・資源化の推進へのご理解・ご協力を市民および事業所の方々にお願いしています。皆さんに分別していただいた資源物が、市で回収後、どのようなものにリユース、リサイ

クルされているのか、主なものをご紹介します。

※下記は平成30年11月時点の状況です。内容は今後変更する場合があります

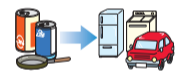
● ペットボトル

市が運営する資源物処理場で選別後、(公財)日本容器包装リサイクル協会を通じ、リサイクルを行う事業者へ引き渡され、たまごパック、衣類などに、また、一部は民間処理施設で市ボランティア袋にリサイクルされています。



● 空き缶・金属

アルミ缶やスチール缶、金属は市が運営する資源物処理場で選別後、民間処理施設で、アルミ缶やスチール缶は自動車部品、機械部品などに、金属は建築材料などにリサイクルされています。



● びん

民間処理施設で、繰り返し使用できるびんは洗浄し、傷などをチェックした後、再使用します。その他のびんは原料まで戻し、新たなびんなどにリサイクルされています。



● 古紙・布

民間処理施設で、一例として次のようにリユース、リサイクルされています。

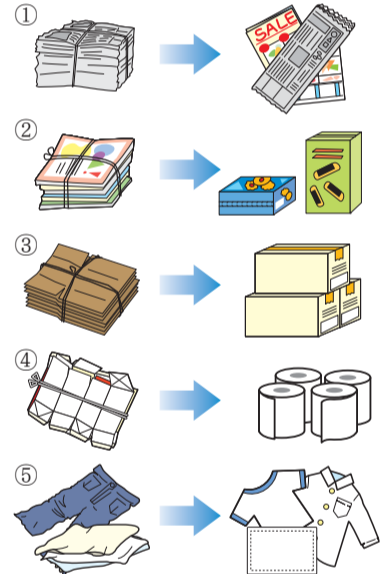
①新聞紙→新聞、ちらし

②雑誌・ざつがみ→お菓子の箱

③段ボール→段ボール

④紙パック→トイレトペーパー

⑤布→海外などで再使用、ウエス(工業用ぞうきん)、反毛材料



「くるカメ出張講座」受講者募集



ごみの減量への理解を深め関心を高めるため、「くるカメ出張講座」の受講者を募集します。「くるくるカメくん」をはじめとしたオリジナルキャラクターが登場するごみ減量啓発冊子やアニメーションDVD(子ども向け・一般向けの2種類)、ごみ減量かるたなどを用いて、小金井市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説します。受講日時や講義内容などについてのご相談もお受けしますので、ぜひ、ご利用ください。

対象	▷市内在住・在勤・在学の方	
内容	▷小金井市のごみの現状について ▷小金井市のごみ分別について	▷ごみ処理の行方 ▷3Rについて
教材	▷ごみ減量啓発冊子 ▷ごみの分別啓発ちらし ▷アニメーションDVD2種類 ①子ども向けごみ減量啓発アニメーション「くるカメ大作戦」 ②ごみの分別方法の解説アニメーション「ようこそ!小金井市へごみの出し方」 ▷ごみ減量かるた	

申電話または直接、ごみ対策課清掃係(市役所第二庁舎4階 ☎042-387-9835)へ

粗大ごみのお申し込みはお早めに

年末は粗大ごみの申し込みが多く、受け付けから収集までに日数がかかりますので、早めに準備して申し込んでください。申し込みは、粗大ごみ受付センターまたはごみ対策課窓口(市役所第二庁舎4階)で受け付けます。なお、粗大ごみの収集は、有料で申し込み制です。

〈ご利用の流れ〉

①品目・個数・大きさを確かめてお申し込みください。その際、手数料と収集予定日をお伝えします

②手数料分の粗大ごみ処理券(シール)を処理券取扱店などで購入してください

③品物ごとにシールを貼って、収集予定日の午前8時30分までに建物敷地内の収集しやすい場所に出してください

※品目によっては市で収集できないものがあります。必ず事前にお問い合わせください

※年内収集の最終申込日は12月20日(木)です

申粗大ごみ受付センター(☎042-387-9829=午前8時30分~午後5時15分。土曜・日曜日、年末年始を除く)